

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人大沼学園 東京幼稚園

1 本園の教育方針

- ・自主性を育てる
- ・創造性を高める
- ・身体的発達を助長する
- ・社会性を伸ばす

2 保育目標

年少

まず幼稚園という環境に慣れることと、基本的な生活習慣を身につけていくことが目標です。月齢差や家庭での生活経験、育った環境などによる個人差はありますが、園児の成長段階に合わせて言葉掛けや環境設定などの配慮をします。まだ自分では周囲にうまく言葉で伝えられない園児の心を読みとるように心がけています。

年中

「集団生活ができるこども」をテーマとして、楽しく園生活を送りながらお友達を作る環境を整えていきます。お友達との関わりは社会生活への第一歩です。無理に関わりを持たせようとはせず、お友達の様子を見たり、遊びの中で子供同士がお互いに興味を持てるようにしていきます。その中で他者の存在を意識し、受け入れることによりお互いに影響し合って自己を形成していきます。

年長

最終学年となる年長では、さらに集中力や体力の向上を目指していきます。小学校就学に向け、文字や数の概念を身につけるとともに、人の話を聞く、自分の意思をきちんと伝える、相手の気持ちを理解するなど、集団の中での関係を構築し、より周囲と積極的に関わられるよう指導していきます。

3 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・幼稚園教育要領に準拠した総合教育により、人間形成に必要な基礎をつちかい、豊かな感性とたくましく生きる子供の育成を目指す。
- ・とうきょうすくわくプログラムを利用し、探求活動を実施する。

4. 教育活動に対する学校評価

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	取り組み状況	評価	意見
教育方針 や保育目 標	A	教育方針や保育目標、重点目標について、教職員間の共通理解を深めて、実際の保育に沿わせていけるように努力している。	A	・先生方の教育方針への理解とともに保護者や外部関係者にもさらに理解を深める活動を望む。
教育の質 と保育力 の向上	A	<p>今年度は新たな取り組みとしてとうきょうすくわくプログラムを活用し、「音の探求」「生き物の探求」「砂の探求」の3つをテーマに探求活動を行った。実際に体験する中での思いがけない気付きや疑問、発想が園児たちから多くあった。次年度も積極的に活動していきたい。</p> <p>今年度も引き続き外部専門講師（英語、体育）を定期的に招き、英語では英語を楽しんで触れること、体育では正しい身体の使い方を身につけることを目的として継続的に取り組み、教育の質の向上を図った。</p>	A	・探求活動では新たな取り組みを実施するにあたり、先生方も苦勞されていたようであるが、多くに園児たちが新たな経験をする機会が与えられ大変すばらしい活動となっているように思われる。今後も引き続き精力的に活動を進めていただきたい。
環境の整備及び安全確保	A	<p>日々の遊具の安全点検を徹底し、日々のメンテナンスを欠かさずに実行した。</p> <p>定期的に避難訓練を実施し、災害時や不審者が侵入した際の対応を行った。</p>	A	<p>・引き続き遊具等の安全管理を徹底してほしい。</p> <p>・防犯、防災を引き続き徹底してほしい。</p>
保護者・ 地域との 連携	A	<p>保護者との連絡を密にし、園児の理解に努めている。</p> <p>地域の保幼小連携合同研修会や連絡協議会へ積極的に参加し、小学校との交流を進めている。</p>	A	・保護者、小学校、近隣との連携を今後も密にし、積極的に行ってほしい。

(A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった)

5 総合的な評価結果

評価	理由
A	それぞれの評価項目において、一定の成果があった

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育の質と保育力の向上	園内、園外の研修の充実、外部講師の積極利用、複数の探求活動
2	環境の整備及び安全確保	園舎、遊具等の日々のメンテナンス
3	保護者・地域との連携	小学校との連携の強化、地域子育て教育相談の充実

7 学校関係者評価委員会の評価

新たな探求活動を積極的に行う活動は素晴らしい。今度も様々なテーマにおいて園児たちの好奇心を刺激するような活動に期待したい。